地元金融機関調査資料

2018年8月

調査レポート名 百五経済研究所 「地域経済レポー ЬI 2018年7月

概要(一部抜粋)

〈現在の景気〉

緩やかに回復している。個人消費は持ち直しの動きが一服したものの、生産は回復、 雇用は高水準で推移。

〈当面の見通し〉

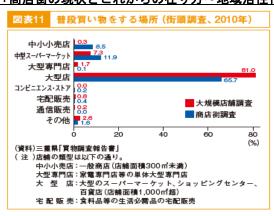
【三重県経済の動向】

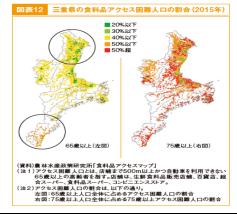
緩やかな回復が続く。生産の回復、設備投資のさらなる持ち直しが期待されるなか、 雇用は高水準を維持し、所得環境の改善が期待される。

項目	動向	コメント
<u> </u>	30117	7,21
個人消費	持ち直しの動きが一服	5月のコンビニ販売額(速報)は1.1%減で4か月ぶりの減少。
住宅建築	足踏み	5月の住宅着エ戸数は、前年比8.0%減で2か月ぶりの減少。床面積(Δ9.6%)は6か月連続の減少。
設備投資	持ち直し	5月の建築物着工床面積(非居住用)は、前年比12.6%減で3 か月ぶりの減少、3か月後方移動平均では4か月ぶりの増加。
公共工事	横ばい	6月の公共工事請負件数は前年比6.7%減で9か月ぶりの減少。
ムベエザ	1円160・	請負額は34.6%減で3か月ぶりの減少。
+4 .11. 7	軸出は一進一退、	5月の県内2港(四日市港(尾鷲通関分含む)+津港)の通関輸
輸出入	輸入は上向き傾向	出額(速報)は、前年比23.3%増で4か月ぶりの増加。
4 女 汀 科		4月の鉱工業生産指数(季調済)は生産用機械、情報通信機
上 生産活動 	回復	械、業務用機械などで低下したが、輸送機械、電子部品・デバイス、金属製品などが上昇。
声 田桂劫	ウル海体ノ	5月の有効求人倍率(季調済)は1.69倍で、前月比0.04ポイン
雇用情勢	高水準続く	ト低下したものの、60か月連続で1倍を超え、全国を大きく上 回って推移。

三重銀総研 「調査レポート」 No. 93 2018年7月

「商店街の現状とこれからの在り方〜地域活性化に貢献する商店街になるための方法〜」より





三重県信用金庫協 会

「三重県しんきん レポートロ vol. 22 2018年7月

三重県全体状況について

期比0・0ポイントの横ばいで推移している。 設備投資実施企業割合は34・3%と、前 めてプラスに転じた。 の平均を上回っている。 業種別では、サービス業、 イントで5期ぶりに改善するも、高水準の人スは人手「不足」超)と、前期比プラス6・4ポ 手不足が続いている。 イント改善し、過去15年の調査の中で初 資金繰り判断DIは0・9と前期比3・7 資金繰り(カネ) 設備投資(モノ) 人手過不足判断DIは▲48・2(マイナ 雇用 不動産業が 三重県

業、製造業、サービス業で改善し、卸売業は横ばントで横ばいの予想である。業種別では、不動産 沢判断DI(予想)は2・6で、当期比0・0ポイ 2018年7月~9月期の三重県北部の業 来期の見通し 小売業、建設業で悪化の予想である。

、建設業、卸売業、不動産業で悪化となった。

7ポイントの大幅な悪化となった。業種別では、 小売業のみ改善し、製造業とサービス業は横ば 況判断DI(実績)は2・6と、前期比▲10 ス基調が続いている。来期は横ばいの見通し 業況は悪化に転じるも、8期連続してプラ 直近の業況 2018年4月~6月期の三重県北部の業

北勢·

北部

の業況